

# 明るいまちづくり めいほ

第26号  
R3.3

発行：明保地区明るいまちづくり協議会  
〒320-0851  
宇都宮市鶴田町 3668-36  
明保地域コミュニティセンター内  
TEL/FAX 028(648)7253  
Eメール:miho\_com@snow.ucatv.ne.jp

## 新型コロナウイルス感染症を乗り越えましょう

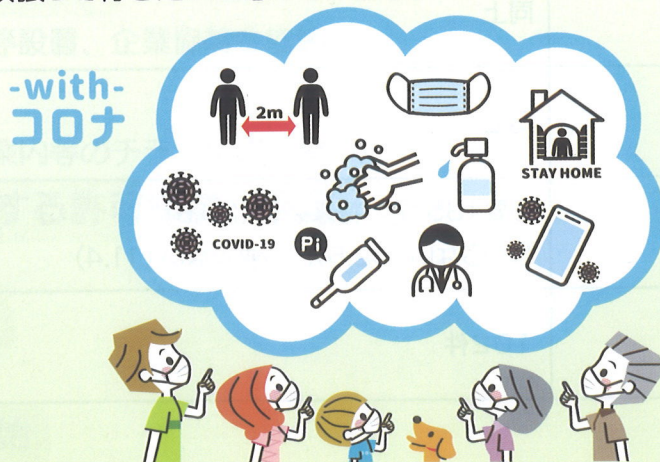
新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの日常の生活基盤を覆すほどの大きな影響をもたらしています。コロナ禍のパンデミック（世界的大流行、感染爆発）期間を経て、ウィズコロナ（コロナ禍から始まって、ワクチンなどによりウイルスを効果的に閉じこめるツールを人間社会が獲得するまでの期間）時代をどのように対処し生き抜くか、当面は難しい日々が続くものと思います。

宇都宮市における緊急事態宣言の発出以来、明保地区の各団体、サークル、サロンにおける諸活動は殆どが中止となり、活動の拠点である明保地域コミュニティセンターや各自治会集会所などへの人の往来も無く、閑散な状況です。

解除されても、当面の間は不要不急の外出自粛、マスクの着用、換気、手洗い、3蜜の回避など、基本的な感染防止対策は続くのではないのでしょうか。

適度な運動、栄養のバランス摂取、ストレス解消策などを講じながら、これらのコロナ禍を乗り越えて行きましょう。

本年度は、明保地区のイベント（夏祭り、敬老会、体育祭、文化祭、梵天まつり、雨情まつり）の全てが中止となってしまう、また諸団体の行事やまちづくり講座等の事業活動も一部制限されました。子どもたちや高齢者等、明保地区の皆さま方には寂しい1年間ではありましたが、来年へのステージに向けて、これからの日々を共に頑張っていきたいと思っています。





# 明保地区地域内公共交通導入計画ニュース

## 《第1回アンケート調査結果概要》

調査対象世帯数 1,399 世帯 回答世帯数 1,180 世帯  
**回答率 84.3%**

\*先行した地区より10%以上の高い数値を示しました。皆さまの関心度の深さが示されたのではないのでしょうか。

アンケート調査結果をグラフ化等により詳細に分析しました。それらの内容は21ページにもおよび、今後の「明保地区公共交通に関する構築」に関わる基本的な資となり、「地域内交通公共交通検討委員会」における「総務企画部」「運行計画部」「資金計画」の3部会において、今後の検討作業会に活かして行きます。

### 〔参考〕第1回アンケート概要（分析等詳細内容は除く）

項目	分析項目等
属性	性別、年齢分別、世帯数、運転免許証保有状況等
日常的に利用している施設	商業施設、医療機関、その他の施設の個体名
日常の外出状況 (通勤、通学、買い物、通院、趣味、習い事、 移動全般(最も利用が多い移動手段)) 年代別主な移動手段	車(自分で運転)、車(家族等の運転に同乗) バイク・原付、バス、タクシー、 自転車、徒歩
不便を感じている移動の外出目的、頻度、 事柄 将来(概ね5年後)の移動不安の有無	通勤、通学、買い物、通院、趣味・娯楽、習い事 全体、70歳以上
バスの利用状況	利用頻度、利用する際の不便を感じていること、利用しない理由、最終 目的地の方面
タクシーの利用状況	同上
自転車の利用状況	同上
生活交通の必要性(%)	必要(35.5)、将来必要(20.6)、 わからない(32.5)、必要でない(11.4)
自由記述(一部抜粋)	102件

## 今後の取り組みフロー

検討メニュー・運行計画(素案)の検討

(運行方法、ルート、本数、運賃、目的施設など)

交通事業者等との調整

コンサルを活用したルート検証・運行診断の実施

運行計画(素案)の策定

第2回アンケートの実施(利用意向確認を目的)

(準備、配布、回収、集計、分析)

運行計画の詳細検討

(バス停の位置、詳細なダイヤ、乗り入れ施設等との調整、ルート試走など)

自治会説明会

交通事業者等との調整

運営組織の設置

運行計画の策定

運行委託事業者選定

(説明通知、決定)

運行に向けた準備

(初年度開設費の検討・予算編成、愛称募集・決定、運行開始式事前準備)

目的施設挨拶回り

(バス停設置、企業協賛金依頼)

周知活動

(利用案内等のチラシ作成、配布)

運輸局に対する許可申請、許可

運行開始式

試験運行開始





# 明保地区における各団体の活動紹介

## 【明るいまちづくり協議会】

地域の特徴を生かした自主責任型のまちづくりを狙いとして平成20年度に明保地区を統括した「明るいまちづくり協議会」を発足しました。12団体・学校関係・行政機関の協働したまちづくりを展開しています。地区のイベント（文化祭、体育祭、夏祭り、梵天まつり等）の各実行委員会、明保地域コミュニティセンターの指定管理委託、広報誌（明るいまち）及びコミュニティカレンダーの発行、ホームページの開局などを担っています。

明保地区のあるべき姿の将来像を掲げた「まちづくりビジョン」を策定するため、平成26年に宇都宮市のモデルとして、65名の委員により立ち上げました。60件以上の課題を5つのワーキングチームでP（計画）D（行動）C（評価）A（再行動）を回しながらチャレンジしています。



## 【連合自治会】

昭和56年度に発足、単位自治会を統括し、回覧物の配付により、行政や地域情報をお知らせし、住民サービスに寄与・ゴミ減量化、リサイクル、ごみステーションの美化などによる地域環境の充実化・防犯灯、防犯カメラ等の整備による安全なまちづくりへの寄与・自治会からの資金支援による各団体への活動支援・会員の自治会加入促進を推進し、更なる地域まちづくりへの参加充実化による貢献等を踏まえ、地域まちづくりへの主体的参加、活動を担っています。



## 【社会福祉協議会】

高齢化が進んでいる昨今、無縁化社会等高齢化社会に向けた様々な多くの課題が提起されています。

高齢者の方々が私たちのまちで住んでいて良かったと思えるようなまちづくりを目指して、身近な福祉協力員（33名）を主体に「高齢者見守り安心ネットワーク」「高齢者ふれあい食事会」「敬老会」等の活動にチャレンジしています。また、お互いが助け合うための募金活動を地域住民の協力を頂きながら社会に貢献しています。



## 【民生・児童委員協議会】

高少子高齢化が進む社会環境下、老人福祉、児童福祉、障害者福祉、生活相談等の幅広い相談支援活動が漸増されています。

また、災害時要援護者支援制度への平常時対応、昨今、発足した高齢化時代を指向した「地域包括ケアシステム」の構築では福祉協力員、自治会役員と協働しながら日々の活動を担います。



## 【健康づくり推進協議会】

地域住民の健康づくりと食生活の改善等の活動を目的に平成20年度に発足しました。会の専門推進員は5日間の講習を受講する必要がある現在、これらの推進員18名が中枢となって、  
・バランスの良い食生活の指導として（文化祭のテーマとして食育活動や教室を開催）  
・体を動かすこと、ときめきを感じることの大切さとして（毎月定例のウォーキング、ときめきストレッチ体操、ときめき脳トレ）の活動を実施しています。



## 【雨情女性クラブ】

まちづくり活動には女性の参画が要であり、時代性に適合した活動を狙いとして従来の婦人会を発展的解消し、平成20年に「雨情女性クラブ」を発足しました。地域のイベント（体育祭、夏祭り、敬老会等）への参加協力、地域の介護施設への慰問、会員間の親睦交流を狙いとした親睦旅行・食事会また、会員の研鑽として着付け教室、講演会開催、フラダンス・手工芸・茶道の各教室を発足させました。

現在80名の会員を擁し、活発に日々の活動にチャレンジをしています。



## 【婦人防火クラブ】

平成2年に明保地区婦人会から独立し、婦人防火クラブが発足しました。以来、消防一日入校、消火競技大会、視察研修、地域巡回による広報活動や地区防災訓練への支援等に積極的に参加しながら会員の防火知識や技術の習得を図っています。

また、地区の「まちかどの消火器」の保守管理や避難訓練、防災講習会等の講習会を開催しながら、地域住民の防災意識の向上に努めています。



## 【青少年・子ども会育成会】

平成26年度から活動が類似している青少年育成会と子ども会育成会連絡協議会を統合し、傘下の5つの子ども会を主体に更なる活動の活性化を図りました。「みんなで集まろう、元気な明保っ子」を合言葉に、夏祭り神輿まつり・通学路フラワーロードの整備・ちびっ子農園・サマーキャンプ・餅つき体験・明保小のフェンスアート・文化祭におけるハロウィン・凧あげ教室等の年間活動を通じて健全育成に努めています。

地域の青少年を主体に「明保リーダーズクラブ」を発足させ、上記活動及び地区イベントへの支援参加やボランティア等を通じながら人間形成の育成を図っています。





## 【体育協会】

地区住民の健康増進並びにスポーツ振興を目的として昭和56年度に発足しました。

明保地区最大の行事である体育祭は5つのチームによる老若男女が優勝を目指して競争し、和気あいあい、交流しながら一日を過ごします。また、地区には生涯スポーツを通じて健康増進親睦交流を図るため7つのスポーツクラブがあり、住民が楽しく交流しながら参加・活動をしています。特にハイキングクラブは県内外へのハイキングを毎月開催し、明後年に30周年を達成する伝統クラブです。



## 【老人会連絡協議会】

明保地区において、十数年来の課題であった羽黒台自治会に平成24年度「もろこし倶楽部」が発足し、高齢化社会に伴う仲間づくりの体制づくりが確立されました。単位クラブにおいては年間を通じて、様々な活動を実施しています。近隣の仲間たちと仲良く交流しながら過ごせることが何よりも望ましく、そのためには一人でも多くの仲間たちをお誘いする加入促進活動を積極的に進めています。

地区全体の定例活動として〔シルバースポーツ大会〕〔歩け中央公園・学べ博物館〕の活動を毎年、開催しています。



## 【雨情ボランティアクラブ】

永い勤めを終え、地域社会に戻り、これからの第二の人生をどのように過ごすべきか、自己研鑽、地域貢献、仲間づくりなどを模索している中で、地域社会へのボランティア活動を望む声が多くあり、平成16年に有志により発足しました。

定例活動としては、登下校の安全見守り・声かけ運動(6箇所)・夕方巡回パトロール(火、木曜日)・主要道路ごみ拾い(毎月最終日曜日)を実施しています。また、子どもたちと会員の交流を図るため、夏季に流しソーメン大会を開催しています。現在65名の会員を有し、和気あいあい頑張っています。



## 【三の沢北ボランティア】

防犯団体として「子どもたちの登下校時の見守り」を主体に平成17年度に発足し、三の沢西自治会、羽黒台自治会エリアでの「雨情ボランティアクラブ」と連携した見守り活動を行っています。主たる活動範囲は自治会メイン通り、環状線～西の宮通りとし、一人下校となる支線は極力、老人クラブ「尚齒会」の方々をお願いをしています。



## 【中央警察交通安全協会・明保支部】

地区を挙げた交通安全活動を推進するため昭和56年に設立されました。併せて、女性ドライバーズクラブもスタートし以来、羽黒神社広場での「親子の交通安全話し合いの会」、明保小学校の校庭や体育館において、高齢者や児童を対象にした自転車事故防止や交通ルール、マナー等の交通安全教室を行っていました。

「春秋の県民交通安全総ぐるみ運動」が展開されていますが、明保支部では、これに各団体が一丸となって立哨参加し、毎年連続して優勝賞、準優勝賞を授与されています。



## 【交通安全推進協議会】

宇都宮市は更なる交通安全活動を展開するために各地区に昭和56年度に「交通安全推進競技会」を設置しました。

地区の交通安全運動は「中央警察交通安全協会・明保支部」と協調しながらその任を担っています。地区内の生活道路などへのストップマークの表示や交通安全標識や看板の設置を行いながら、住民やドライバーへの啓蒙活動を行っています。



## 【防災会】

住民協働による防災活動及び災害発生時の互助、避難等を住民が主体となって推進するため、平成15年度に防災会が発足しました。これによりチビツ広場の一面に防災用具、器材一式、非常用食材等が保管する防災倉庫が設置されました。防災活動は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という共助の精神が要となり、その役割の中核となるのが防災会です。

毎年、住民参加による防災訓練を開催し、防災器材の使い方等、様々な体験を通して共助の大切さを学びます。



## 【リサイクル推進チーム】


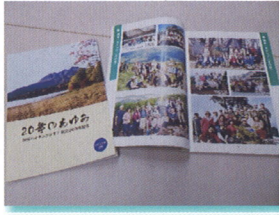



各自治会毎に宇都宮市長から委嘱されているリサイクル推進員がリーダーとなって、ごみステーションのマナー、分別の指導や助言等を行っています。また、各自治会の班長はリサイクル推進チーム委員としてごみステーションの管理を担っています。

明保地区ではごみステーションへのカラス除けネット、オリジナル看板の設置などを行いながら更なるごみステーションの美化に努めています。





# 明保地区の継続活動ベスト5紹介

ベスト	活動名	活動評価
1	雨情寿会誌 ・「あの町この町」毎年発行 【令和2年に38号】	昭和54年に初号発行以来、会員からの投稿による手作りの会誌を毎年発行している。当初の頃はガリバン刷りに加えて、紙質も悪く、作成に先輩たちの苦勞が覗える。継続実績を評価され、全国老人クラブ大会において名誉ある会長表彰が授与された。最近号は写真やイラスト等を挿入する等、カラー刷りによってカラフルに変貌している。 
2	明保ハイキングクラブ ・定例ハイキング 【29年間毎月実施】	平成4年にクラブ発足以来、先の東日本大震災の月を除いて、台風が来襲しても雨、風、雪にもめげず、継続実施している。県内外の山に挑戦、帰りがけの温泉で疲れた身体を癒し、冷たいビールで喉を潤しながらのひとときは最高の気分である。記念号も15年、20年号を発行し、来年は30年号の発行を計画している。 
3	男の料理研究会 ・毎月の定例料理教室 【200回達成・昨年9月】	《男性厨房に大いに入るべし》をスローガンに、〔簡単〕〔安価〕〔美味〕をサブタイトルとして、和気あいあいの下、毎月の第3火曜日に開催している。厨房も最初は明保小学校、西市民活動センターと変わり、現在は明保地域コミュニティセンターにて、講師なしの当番作成のレシピで挑戦している。レシピ記念号も50回、100回、200回号を発行した。 
4	生きがい実践塾 ・開講 【年間6回シリーズ・11年間実施】	まちづくり講座として、明保地区出身の高橋昭夫先生(宇都宮 NHK 文化センター講師)をお招きし、日本の神話、古代史や歴代天皇が夫々の時代性の背景にどのように対処したのか、興味深い講義にはファンも多い。 昨今は皇位継承と女性天皇等、興味深い講座が続く。 
5	健康づくり推進協議会 ・定例ウォーキング 【年間10回・12年間実施】	市内のウォーキングコース(東・西・南・北・中央)を選択しながら実施している。会員用のオレンジカラーのジャンパーを着用し、午前10時に準備体操後、コミュニティセンターをスタート、途中の四季折々の地域の魅力を再発見したり、風景を親しみながら、ウォーキングを楽しみ、併せて健康増進に努めている。 

\* ベスト5の選定は、明保地区明るいまちづくり協議会・広報部会において実施しました。